

〔動物愛護法入門〔第2版〕〕

目次

第1章 ペットの殺処分をめぐる状況と動物愛護法

I	動物殺処分の状況	1
1	本書の目的——問題意識の高まり	1
2	殺処分と法律	2
3	殺処分の状況	3
	《コラム①》ドイツの状況	5
II	動物愛護法の制定と改正の経緯	6
III	動物愛護法に関するさまざまなルール	7
1	行政が定立する法	7
2	行政規則	8
3	条例	8
	《コラム②》ペットに関するその他の法令	10

第2章 動物愛護法の解説

I	動物愛護法の考え方・理念	11
1	目的	11
2	対象となる動物	11
3	基本原則	15
4	基本指針と推進計画	16
	(1) 動物愛護管理基本指針〈16〉 (2) 動物愛護管理推進計画〈17〉	
5	国民の意識向上、殺処分の方法など	18
	(1) 普及啓発活動・動物愛護週間〈18〉 (2) 動物を殺す場合の方法〈19〉	
	(3) 動物実験〈21〉 (4) 表彰〈21〉	
	(5) 地方公共団体への情報提供等〈22〉	

目次

II	動物取扱業者	22
1	動物取扱業者の責務	22
	(1) 第1種動物取扱業者〈23〉(2) 第2種動物取扱業者〈27〉	
	《コラム③》老犬ホーム、老猫ホーム	27
2	第1種動物取扱業者	29
	(1) 第1種動物取扱業者とは〈29〉(2) 第1種動物取扱業の登録〈29〉	
	(3) 第1種動物取扱業者の責務〈44〉(4) 犬猫等販売業者に対する	
	規制〈56〉(5) 犬猫の引取り〈70〉(6) マイクロチップの義務化〈73〉	
	《コラム④》動物を購入するときにチェックすべき点	51
	《コラム⑤》動物販売業者の責任	72
3	第2種動物取扱業者	79
	(1) 第2種動物取扱業者とは〈80〉(2) 第2種動物取扱業の届出〈81〉	
	(3) 第2種動物取扱業者の責務〈88〉(4) 変更の届出〈90〉	
	(5) 廃業などの届出〈92〉(6) 第2種動物取扱業者をめぐる問題点〈93〉	
	<i>opinion</i> 動物取扱業の業界団体の取組み	93
III	飼い主	94
1	飼い主等の責務	94
	(1) 飼い主とは〈94〉(2) 動物を適切に管理する〈96〉	
	(3) 他人への危害や近隣に迷惑をかけない〈96〉(4) 感染症の知識	
	を持ち、予防する〈97〉(5) 逃走防止や迷子防止のために飼い主	
	の明示のための措置をとること〈97〉(6) 終生飼養の責務〈98〉	
	(7) 繁殖制限の措置〈99〉(8) マイクロチップの装着〈99〉	
2	多頭飼育の適正化	101
3	特定動物の飼養・保管	102
	(1) 特定動物の飼養の禁止〈102〉(2) 許可の申請の方法〈104〉	
	(3) 許可の基準〈104〉(4) 変更の許可〈104〉(5) 特定動物を飼養	
	する者の義務の内容〈107〉(6) 許可の取消し〈107〉	
	(7) 措置〈107〉(8) 報告、立入検査〈108〉(9) 罰則〈108〉	
4	犬猫の繁殖制限	109
5	動物愛護推進員、動物愛護協議会	110

(1) 動物愛護推進員〈110〉 (2) 動物愛護協議会〈111〉	
《コラム⑥》 飼い主の責任……………	111
IV 行政 ……………	113
1 行政の役割……………	113
2 動物愛護管理推進計画の策定……………	113
(1) 基本指針と動物愛護管理推進計画〈113〉 (2) 動物愛護管理推進計画	
〈114〉 (3) 基本指針の考え方と動物愛護管理推進計画〈114〉	
《コラム⑦》 東京都の災害時対策推進計画……………	117
3 動物の適正な取扱いに関する行政による指導、勧告・命令等……………	118
(1) 地方公共団体の措置〈118〉 (2) 動物取扱業者に対する勧告・命令、	
検査等〈119〉 (3) 第1種動物取扱業者であった者に対する勧告等〈121〉	
(4) 特定動物の飼養者に対する命令・検査等〈121〉 (5) 飼養者に対する	
勧告・命令等〈122〉	
《コラム⑧》 地域猫に関する新宿区の取組み……………	123
4 犬猫の引取り……………	125
(1) 内容〈125〉 (2) 制度趣旨〈128〉 (3) 引取りに関する動物愛護法	
2012年改正の経緯・内容〈129〉 (4) 動物の引取り数と殺処分数の推移	
〈131〉	
<i>opinion</i> 行政による引取りについてのさまざまな見解……………	131
5 動物愛護管理センター……………	132
(1) 動物愛護管理センター〈132〉 (2) 動物愛護管理担当職員〈133〉	
《コラム⑨》 アニマルポリス……………	133
V 獣医師 ……………	135
1 獣医師……………	135
(1) 獣医師とは〈135〉 (2) 獣医師の種類〈135〉	
2 動物愛護法における獣医師の位置づけ……………	135
(1) 第1種動物取扱業者からの診療〈137〉 (2) 犬猫等販売業者との連携	
による犬猫等の健康および安全の確保〈137〉 (3) 犬猫等販売業者の所	
有する犬猫の検案〈137〉	
3 獣医師の役割と責務……………	138

目次

(1) 期待される役割 (138) (2) 動物虐待発見時の通報義務 (138)

(3) マイクロチップ装着証明書の発行 (139)

opinion 獣医師教育についてのさまざまな見解 139

VI 罰則 140

1 趣旨 140

2 罰則の種類と刑罰 140

(1) すべての人が対象となる罰則と刑罰 (140) (2) 動物取扱業者が対象

となる罰則と刑罰 (146) (3) マイクロチップに関連する罰則と刑罰

(147)

第3章 動物愛護法の課題

I 数値規制 149

1 数値規制に関する2019年法改正の概要 149

2 数値規制に関する議論の状況 149

3 今後の課題について 151

II 緊急時の一時保護 152

1 一時保護の必要性和法的な問題点 152

2 対応策 153

III 実験動物の取扱い 153

1 現在の動物愛護法上の扱い 153

2 3Rの原則 155

3 実験動物業者の登録制 155

4 実験施設の登録または届出制 156

5 改正に向けて 157

opinion 動物実験についてのさまざまな見解 157

IV 飼い主のいない猫の繁殖制限——地域猫活動 160

1 猫の引取り数 160

2 地域猫活動とは 161

3 条例による取組み 162

4	地域猫活動のこれから	163
	<i>opinion</i> 繁殖制限についてのさまざまな見解	164
V	不妊去勢の義務化	165
VI	動物取扱業者の適正化——登録制と許可制	166
1	現 状	166
2	現行の動物愛護法の問題点	167
	(1) 登録拒否、登録取消しの実態〈167〉 (2) 規制内容の不明確さ〈167〉	
3	今後の検討の必要性	168
VII	自治体の収容施設	169
1	収容施設の役割	169
2	現状と問題点	170
	(1) 収容施設の基準〈170〉 (2) 殺処分の方法〈171〉 (3) 引取りのルール〈171〉	
3	今後の課題	171
	(1) 収容施設の基準〈171〉 (2) 殺処分の方法〈172〉 (3) 引取りのルール〈172〉	
VIII	ペットの高齢化	173
	資料	175
①	動物愛護法の2005年改正・2012年改正・2019年改正の 主な内容	175
②	動物愛護法（全文）	183
③	犬猫の殺処分ゼロをめざす動物愛護議員連盟「第一種動物 取扱業者における犬猫の飼養管理基準に関する要望書」	207
	・ 事項索引	223
	・ 動物愛護法条文索引	226
	・ 編者・執筆者一覧	227

【凡例】

〈法令名、団体名等〉

動物愛護法	動物の愛護及び管理に関する法律
施行令	動物の愛護及び管理に関する法律施行令
施行規則	動物の愛護及び管理に関する法律施行規則
医薬品医療機器法	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律
外来生物法	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
ペットフード安全法	愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律
基本指針	動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針（2006年環境省告示）
動物愛護のあり方報告書	中央環境審議会動物愛護部会動物愛護管理のあり方検討小委員会「動物愛護のあり方検討報告書」（2011年12月）
ALIVE	特定非営利活動法人地球生物会議（ALIVE）
ZPK	一般社団法人全国ペット協会

〈その他〉

飼い主等：動物の所有者または動物の占有者のことです。前者は、動物を所有している場合をいい、後者は預かっている場合など一時的に占有している場合をいいます。

都道府県知事等：都道府県知事、および、政令指定都市においては市長のことをいいます。